

平成31年度 学校自己評価システムシート (県立鶴ヶ島清風高等学校)

| | |
|--------|---------------|
| 目指す学校像 | 地域に貢献できる人材の育成 |
|--------|---------------|

| | |
|------|--|
| 重点目標 | 1. 「自ら考える力」の育成 2. 「健全な職業観」の育成 3. 「社会で通用する人間力」の育成 |
|------|--|

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

※ 学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇談会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

| 学 校 自 己 評 価 | | | | | | | | 学 校 関 係 者 評 価 | | |
|-------------|---|-----------------------------|--|---|-------------------|-------|-----------------------|-----------------------------------|-----|-------|
| 年 度 目 標 | | | | 年 度 評 価 (月 日 現 在) | | | | 実 施 日 | 平 成 | 年 月 日 |
| 番 号 | 現 状 と 課 題 | 評 価 項 目 | 具 体 的 方 策 | 方 策 の 評 価 指 標 | 評 価 項 目 の 達 成 状 況 | 達 成 度 | 次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策 | 学 校 関 係 者 か ら の 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価 等 | | |
| 1 | ①授業を理解できる生徒は各年次60%を越えている。引き続き自主学習の習慣付をさらに進め、授業外学習時間を確保していく必要がある。 | 授業改善・自主学習の取組の推進 | ①アクティブラーニング、学びあい、双方向のやり取りを通して質問能力を高め、興味や関心を持たせて論理的な思考を育む。 ②放課後の自習室の活用を推進し、授業での課題を工夫する等、自主学習の習慣を付けさせる。 | ①生徒アンケートにおける以下の項目について水準を維持したか。 ・授業に満足している。 ・授業が理解できるか。 ・授業外学習ゼロ時間と回答する生徒が減少したか。 ②自習室の利用頻度が増加したか。 | | | | | | |
| | ②基礎学力定着の取組は継続中であるが、成績上位層がさらに高いレベルの学習内容に取り組む環境を与える。 | 基礎の徹底・発展的な学習 | ①日常の授業への取り組み方の指導及び予習・復習を励行する。 ②生徒の学習状況を把握し、適切なアドバイスを行う。進学補習の充実を推進する。 | ①基礎学力テストの成績が向上したか。 ②成績優良者数が増加したか。 | | | | | | |
| 2 | 進路活動を通して進路実現の意識は高められつつあるが、生徒が自身の進路実現について主体的に考える姿勢がさらに向上するように各種ガイダンスや進路行事の質を高める。 | 進路意識向上及びガイダンス機能の充実させたキャリア教育 | ①進路ガイダンスや年次集会等を利用して進路活動への動機付けを促進すると共に、より質の高い進路講演会・講義・見学会を多く実施する。 ②1年次生対象に本校独自のインターンシップを実施する。 | ①進路希望調査による大学・短大進学希望者が増加したか。 ①就職希望者が100%就職できたか。進路未決定者が10%以内であったか。 ②アンケートにより生徒・事業者から高い満足度等が得られたか。 | | | | | | |
| 3 | ①整容面(服装・頭髪)は改善されつつあるが、高校生活でのルールが守れない生徒がいる。 | 社会性・公共意識の向上 | 全校集会等における整容指導や他に対するホスピタリティ(思いやり)指導の実施及びルール遵守への指導に粘り強く取り組む。 | 服装・頭髪違反者、問題行動等が前年度より減少したか。 | | | | | | |
| | ②自動二輪等の免許取得に関する指導方針の変更に伴い、免許・車両取得に関心を持つ生徒がいる。また、通学中の自転車乗車マナーについての苦情が一定数ある。 | 交通安全指導の推進 | 自動二輪等の免許・車両取得について、保護者を交えた面談の中でその必要性の再確認と命の大切さについて指導を行う。自転車乗車マナーについては集会や日常の場面で指導する。 | 自動二輪等の免許・車両取得、乗車は、ルールが守られているか、交通事故件数が前年度より減少したか。 | | | | | | |